

緊急告知!!

福岡県の小児歯科医院での2歳女児死亡のニュース

昨年7月に福岡県内の小児歯科医院でむし歯の治療をした2歳の女児が低酸素脳症に陥り、2日後に亡くなったニュースがテレビやインターネットで流れました。

詳細がわからないので事故に関する直接のコメントはできませんが、テレビでは最近はお口呼吸の子どもも多く、ラバーダム（ゴム製のマスク）は子どもには使用しないまたは細心の注意をして使用すべきような歯科医師のコメントがあったようです。

一般的にラバーダムは唾液による汚染を防止するだけでなく、教科書には術野が明瞭になる事、周囲軟組織を保護できる事、誤飲を防止できる事、小児の協力が得られやすくなり処置時間が短縮できる事などが記載されています。

全身状態の把握、呼吸の管理、嘔吐や疼痛への対応など配慮すべきことはありますが、とくに小児歯科診療では安全面の確保のためにもラバーダム装着は必要不可欠なものであり、国際標準となっています。

今回の事故は日本小児歯科学会の専門医でも認定医でもありませんし、全国小児歯科開業医会(JSPP)の会員でもありませんでしたが、どんなに注意していてもアナフィラキシーショックのような事故が起こらないとも限りません。小児歯科医として大事なことは少しの異変にもすぐに気づき適切な対応できるようにスタッフ全員を常日頃から訓練していることです。何よりも子どもと保護者に寄り添う思いやりの姿勢が医療の原点です。

本日1月17日、**小児歯科学会ホームページ上に今回の事故に関する小児歯科学会の見解が掲載されましたので参照していただければ幸いです。**

亡くなられたお子様のご冥福とご遺族に対しまして心から哀悼の意を表します。

日本小児歯科学会ホームページ
<http://www.jspd.or.jp/>

全国小児歯科開業医会
<http://www.jspp.net/index.html>



徐小児歯科
院長 八木成徳